

学位被授与者氏名	郭 蕾 (かく らい)
論文題目	中国におけるインターネット金融を起点とする「決済」の変化と影響
論文審査結果の要旨	<p>本論文は、いまだ論点整理が決着をみていない、キャッシュレス化の要因について、先行研究を幅広く渉猟かつ比較しつつ、詳細なファクト・ファインディングを行って、第三者モバイル型決済という概念を軸に据えることで、論理的に整理ができていという点で、評価できる。さらに、通貨の利用に関する経済学の理論である、ネットワーク外部性と慣性の法則にまで掘り下げて要因を分析し、第三者モバイル決済がそうした外部性と慣性の法則をもっていることを主張できていることも、一定の知見であるといえるだろう。研究の意義という点については、今後の中国で、銀行が決済の分野にどう切り込んでくるのかを見定めるうえでも、本論文は重要な論点を提供しているといえるだろう。</p> <p>ただし、本論文の図表の中には、データの性質が金額ベースなのか件数ベースなのかが、判然としていない箇所があった。また、ネットワーク外部性と慣性の法則という通貨理論を使うからには、そうした先行研究やモデル分析にも言及し、必要に応じて自身のモデル展開をする余地もあったであろう。</p> <p>こうした不十分な点は散見されるものの、修士論文としては良好な完成度に達していると判断できる。</p> <p>平成 31 年 2 月 14 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館・経済学部資料室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して、論文の説明と質疑応答によって学力を確認し、全員一致で当該論文が修士（経済学）の学位に値する内容であると判定した。</p>